

# 鳥獣の捕獲を目的として入林される皆様へ

国有林野で働く職員、国有林野で事業を行う事業者、

国有林野へ入林する者等を事故から守るための安全遵守事項

鳥獣の捕獲を目的として、国有林野へ入林される場合は、下記の注意事項を厳守して、絶対、事故を起こさないよう御注意願います。

## 記

- 1 実際に入林する日が決まった場合には、入林する日までに日にちと場所を、電話、FAX、電子メールのいずれかの方法により御連絡下さい。
- 2 立入禁止区域（作業予定区域及びその周辺区域等）については、入手した立入禁止区域図等により、その位置を確認するとともに、立入禁止区域内への立入り及び発砲を行わないで下さい。  
立入禁止区域には、現地に「立入禁止」「発砲禁止」「銃猟禁止」等の標識を設置しています。また、立入禁止区域がある林道入口等には、「この先、作業中につき立入禁止」等の標識や横断幕などで表示しています。  
なお、事業の変更に伴い立入禁止区域図を変更する場合がありますので、入林する際は、お手持ちの立入禁止区域図が最新かどうか御確認下さい。
- 3 「入林届」の写しを、車両ごとに車内の見やすいところに掲示して下さい。
- 4 銃器による野生鳥獣の捕獲等を実施する場合は、「注意喚起看板」を、車両ごとに車体の側面等の見やすい場所に掲示して下さい。
- 5 他の森林管理署等の管内に入林する場合は、当該森林管理署等においても同様の入林の手続をして下さい。
- 6 一般の方が入林している場合がありますので十分御注意願います。
- 7 入林される際には、火気に十分注意し、山火事予防に御協力下さい。
- 8 入林された方が、落石、滑落、交通事故等により災害にあった場合でも、静岡森林管理署では責任を負いませんので十分御留意願います。
- 9 指定管理鳥獣捕獲等事業による夜間銃猟を実施する場合は、安全を厳密に確保する観点から、射撃場所、射撃方法及びバックストップをあらかじめ想定できる方法（誘引して定点から射撃する方法等）により捕獲するようにしてください。また、照明器具やナイトスコープ等の使用により、昼間と同等の視認性を確保していることを確認して下さい。

静岡森林管理署長